

# The Frog Galliard

フロッグ・ガリアード

John Dowland/arr. S. Tennant

私の好きな作曲者のひとり Dowland による作品で、私がよく演奏するお気に入りの曲という理由で選びました。数年にわたり、何度となく演奏してきた作品ですが、一度も飽きたことのないすばらしい曲ですので、あなたと、この曲のすばらしさを共有できれば幸いです。また、この曲では *a-i* 指によるスケール・パッセージ(フレーズ)という、私たちギタリストが避けてしまいがちなフィンガリングが出てきますが、よい練習の機会ですのでがんばりましょう。

3弦は半音下げた F# のチューニングになっています。注意しましょう。

## チェックリスト

- ✓ 曲全体を軽やかな雰囲気演奏しましょう。おもにアライレを使って弾いてみましょう。
- ✓ スケール・パッセージの部分では、*a-i* 指によるアライレを試してみることをお勧めします。*a-i* 指は *i-m* 指に比べて、指の間隔が離れているので、交互に指を動かす場合(オルタネイト・ピッキング)には運動のバランスもよく、フレーズもなめらかで、均等になります。この *a-i* 指によるオルタネイト・ピッキングは、慣れるまで時間がかかるかもしれませんが、ひとたび自分のものにしてしまうと、このような軽やかで素早いパッセージでは、有効なフィンガリング・パターンになるでしょう。

♩ = 96~108  
③ = F#

Track 1

1 5 9 13